

深谷市 農委だより

2022年9月

No.34



深谷市イメージキャラクター
畠山重忠とぶっがちゃん



市内で新規就農された伊藤貴子さん

(6面にインタビューを掲載しています)



編集
発行

深谷市農業委員会

事務局 〒366-8501 深谷市仲町11番1号 ☎ 571-1211(代表)、577-3439(直通)・FAX 578-7614

令和4年6月2日、^{みぞう}^{こうひょう}未曾有の降雹が襲う！

令和4年6月2日夕方、市内の岡部、藤沢、瀬山地区を中心に大規模な降雹に見舞われ、農作物や農業施設に甚大な被害が生じました。
 被害状況は、収穫間近のスイートコーンやねぎをはじめとした露地野菜や農業用ハウスなどの生産施設を中心に、被害総額約14億5千万円に達する見通しとなりました。本号では、その概要と支援策をお伝えします。



降り積もった雹



被害にあったハウス



葉身の折れたねぎ

— 被害箇所

令和4年6月2日の降雹における農作物等の被害状況について

農作物

被害農家戸数：**300戸** 被害面積：**332.91ha**
被害見込金額：**12億2,878万7千円**

| 作物名 | 被害農家数(戸) | 被害見込金額(千円) | 被害面積(ha) |
|----------|----------|------------|----------|
| スイートコーン | 180 | 565,275 | 246.44 |
| ねぎ(夏・秋冬) | 52 | 304,938 | 46.52 |
| なす | 11 | 40,767 | 6.79 |
| ゆり | 10 | 77,911 | 2.50 |
| 鉢物 | 5 | 105,116 | 2.30 |
| 施設・露地切花 | 9 | 25,960 | 1.16 |
| その他作物 | 33 | 108,820 | 27.20 |
| 計 | 300 | 1,228,787 | 332.91 |

農業用生産施設

被害棟数：**178棟** 被害面積：**123,931㎡**
被害見込金額：**2億1,732万2千円**

| 被害施設 | 被害施設数(棟) | 被害見込金額(千円) | 被害面積(㎡) |
|-------------|----------|------------|---------|
| 農業用ハウス(パイプ) | 41 | 2,547 | 10,016 |
| 農業用ハウス(鉄骨) | 97 | 112,740 | 84,457 |
| 畜舎 | 38 | 97,938 | 28,695 |
| その他 | 2 | 4,097 | 763 |
| 計 | 178 | 217,322 | 123,931 |

被害合計額：14億4,610万9千円

降雹による農業被害に対する支援について

経緯及び概要

令和4年6月2日の降雹による市内の農業災害について、埼玉県農業災害対策特別措置条例に基づき、令和4年6月17日に特別災害に指定され、令和4年7月7日に、支援に係る県の補正予算が措置されました。市においても県と協力し、農業者に対し一刻も早い復旧に向けた支援を実施するため、所要の予算措置を行いました。

予算措置

予算事業：農業施策推進事業

・農作物災害緊急対策事業(補助率：県1/2・市1/2)

次期作用種苗等の購入に対する補助 **2億3,400万円**

・農業用生産施設降ひょう被害対策事業(補助率：県1/2・市1/2)

ビニールハウス等の農業用生産施設の復旧費用に対する補助
3億500万円

合計 5億3,900万円

※ 令和5年3月下旬までに補助金の交付を完了する予定です。

農業者年金に加入しませんか？

◆農業者年金受給額の試算◆

(保険料月額2万円で通常加入、運用利回り2.5%の場合)

| 加入年齢 | 納付期間 | 男性 | | 女性 | |
|------|------|----------|-------------|----------|-------------|
| | | 年金額(年額) | 年金受給総額 | 年金額(年額) | 年金受給総額 |
| 20歳 | 40年 | 760,300円 | 16,346,500円 | 640,600円 | 17,296,200円 |
| 30歳 | 30年 | 504,500円 | 10,846,800円 | 425,100円 | 11,477,700円 |
| 40歳 | 20年 | 298,700円 | 6,422,100円 | 251,700円 | 6,795,900円 |
| 50歳 | 10年 | 133,200円 | 2,863,800円 | 112,200円 | 3,029,400円 |

試算の前提

- 65歳以降の年金額を計算するための予定利率は0.30%で計算しています。
- 年金額は65歳裁定時における年金額であり、年金受給総額は65歳での農業者年金加入者の平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の受取総額です。

令和3年度の農業者年金の運用状況について

加入者のみなさまからお預かりした保険料や国庫補助金等の資産を運用した結果、令和3年度の運用収入は約プラス62億7,600万円、収益率はプラス2.39%、時価総額は約2,650億円となりました。(直近10年間の運用利回りの平均は、年率4.55%です。なお、新制度発足以降の20年間の運用利回りの平均は、年率2.94%です。)

運用の結果得られる収入等を、加入者のみなさま一人ひとりに配分することを「付利」といいます。

農業者年金には、年金裁定を受ける際に、もし付利累計額がマイナスとなった場合でも、納付した保険料の総額が確保されるよう付利累計額のマイナス分を補う付利準備金の仕組みがあり、これまで農業者老齢年金については、「65歳」を対象としていました。(特例付加年金については「65歳以上」)

今般の制度改正により農業者老齢年金について受給開始時期の選択肢が拡大されたことに伴い、補てんの対象も「65歳以上の年金裁定時」に拡大されました。

—『のうねん』より抜粋—

■加入についてのお問い合わせは農業委員会事務局(☎577-3439)または最寄りの農協へ

全国農業新聞を購読してみませんか!!

全国農業新聞は、農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。1952年(昭和27年)に創刊し、2022年に70周年を迎えました。

一週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く紹介しております。ぜひ、情報収集のツールとして全国農業新聞の購読をご検討ください。ようお願いいたします。

発行日/毎週金曜日

購読料/●新聞本紙:月額700円(送料・税込み) ※新聞本紙のほか電子版も閲覧可能

●電子新聞:月額500円(税込み) ※電子版のみの閲覧

■購読のお申し込みについてはお問い合わせは農業委員会事務局

(☎577-3439)まで

※電子新聞のお申し込みは、全国農業新聞ポータルサイト「あぐりオンライン」にて受け付けております。

ネギネクロバネ

キノコバエの防除

ネギネクロバネキノコバエの被害が見られています。残さを適切に処理し、新たな寄生場所を作らないようにしましょう。

■ネギ残さ等の腐熟促進

①石灰窒素を使い、腐熟させる方法

収穫したねぎに幼虫の被害があった場合、残さなどを捨てる時には、速やかに石灰窒素を加え、腐熟させます。残さの上から必ずビニールシート等で被覆密閉し、周囲に飛散させないようにします。

幼虫の被害がなかった場合、収穫が終わったら、速やかに耕うんしましょう。また、残さは早めに腐熟させて適切に処理しましょう。

②微生物分解資材を活用する方法

有機物分解能力を持つ微生物資材を活用し、ねぎ残さを早く分解させます。

※注意！

石灰窒素、殺菌剤との同時使用は避けてください。

■ほ場の周辺作物や雑草管理の徹底

ねぎやにんじん以外の作物や雑草にも寄生するため、周辺作物の薬剤防除や除草作業を定期的に行いましょう。

■排水対策

生育期間には、ほ場に水が溜まらない

ように明きよなどを設置しましょう。

使用した機械等（トラクタや管理機のタイヤ、ロータリ等）は、移動の際には必ず土をよく落として、他のほ場へのまん延を防ぎましょう。

●問い合わせ

農業振興課

☎577-3298

有害鳥獣による農作物

被害対策を実施します

近年、有害鳥獣による農作物被害が確認されていることから、次の対策を実施します。

■電気柵の貸出しについて

協議会所有の電気柵を、希望される方に貸出しします。

■電気柵の購入補助について

有害鳥獣に対する、侵入防止用電気柵一式に係る購入費用を補助します。

○対象者：市内に住所を有し、市内で農作物を生産するかた

○限度額：30,000円

○補助率：1/2

○申請回数：1年度内に1回

○申請期間：令和5年2月24日まで

■有害鳥獣の捕獲について

有害鳥獣による農作物被害の恐れがある場合は、農業振興課あてにご連絡をお願いいたします。捕獲の必要があると判断さ

れた場合には、捕獲のためのワナを設置します。

●問い合わせ

農業振興課・農業政策係
(深谷市鳥獣害対策協議会事務局)

☎577-3298

砂ぼこり対策の

ご協力について

冬から春先の農閑期にかけて、強風で優良土壌が飛散し、風下の地域の住環境に悪影響を及ぼします。次のような対策で優良土壌の飛散を抑えましょう。

●中低木、竜のひげの植栽または防風ネットの設置

●次期作に向けた耕運作業を作付け間近まで控える

●畑かんなどで散水し農地の湿潤化を図る

●緑肥作物（エン麦、ライ麦）の播種

●問い合わせ

農業振興課

☎577-3298

農地の管理をお願いします

雑草等が繁茂している農地がありますと、病害虫等の温床となったり、雑草の種の飛散によって、周辺の農地の作物にも被害を及ぼすことが考えられます。また、交通等の支障が出る可能性があります。ため、隣地や道路の境界付近も含めて除草等の適正な管理をお願いします。

シリーズ新規就農

丁寧で喜ばれる
野菜づくりをめざして

花園ファーム

伊藤貴子さん(45才)

このコーナーでは、深谷市の明日の農業を担う新規就農者を紹介しています。シリーズ第29回は、深谷・大寄地区で就農されている伊藤さんご夫妻にお話を伺いました。

Q これまでの経歴や、農業を始めたきっかけは何ですか？

A 県外でウェブ関連の仕事を行っていましたが、先祖から代々受け継がれてきた農業を守って行きたい思いで2年前に始めました。

Q 主に何を生産していますか？これからどんな作物を生産したいですか？

A とうもろこしとブロッコリー6反、ねぎ2反ほど、あと本柵を栽培しています。将来は高収益で天候に左右されないハウス栽培できゅうりやトマトの生産も行ってみたいです。

Q 法人として農業を始めて感じたことは？

A 法人に限りませんが、この地域は農業が盛んです。農地がなかなか手に入らないことです。法人化して感じたことは保険や共済などの加入のしやすさでしょうか。

すさでしようか。

Q 農業をしていて良かったことは？

A インターネット販売を扱っており、お客様からお礼やお褒めの言葉をいただくことが多く、すごくやりがいを感じています。

Q 農業をするうえで大変なことや心がけていることはありますか？

A 自然災害などで作物が予定どおり収穫できずお客様の期待に応えられなかったときなどはすごく辛いです。また、直接販売が多いものですから、他の作物との差別化を図ることやその土地ごとに適した栽培を心がけています。

Q 休みの日は、何をしていますか？

A 休日はあまりとれませんが、趣味でほぼ毎日夫婦共々ジムで筋トレを行っています。体づくりにはブロッコリーを摂るのが最適です。

Q 将来の夢は何ですか？

A 夫婦ともに料理好きもあり、深谷の野菜を使ったカレー店を開きたいです。最後に、これから新規就農する方に一言！

A 農業はやりがいがある仕事です。国や自治体の支援も充実しています。辛いことばかりではないです。是非お勧めしたいです。



編集後記

この夏は雹害をはじめ各地で猛暑日の記録更新や北日本で相次ぐ災害級の豪雨発生と「これまでに経験のない：」が当たり前のようになった感のある年でした。

巻頭でも特集しましたが、去る6月に発生した降雪により被害を受けた方々に慎んでお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く元どおりになりますようお願い申し上げます。

県や市などによる支援や対策が講じられているところですが、農家の皆さんも日頃から排水路の清掃や除草、施設の防風対策などに心がけていただければ幸いです。台風シーズンの最中ですが、大きな被害が起きないように願うばかりです。

農委だより編集委員会

- 委員長 橋本 繁穂
委員 桑原 清 田中島 隆
飯塚 諭 根岸 英男
馬場 詔二 高荷 政行

全国農業
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS
新聞
週刊
金曜日発行
月700円
お申し込みは農業委員会へ